

● 研修会特集  
事例報告(1)

ISO9001:2000  
図書室の取り組み

野口 通世

当院は平成13年6月、日本医療機能評価機構の認定を受け、平成15年10月にはISO9001:2000の登録施設となった。病院機能評価は病院施設の設備や機能のレベル、質の評価を目的としているが、ISO9001は組織、業務の見直し、システム構築のプロセスを評価し、最終的に顧客(患者様)の満足を目的としている。定期的に実施される審査のため常に見直し改善が必要である。つまり5年ごとに機能評価受審で明確になった問題点を、ISOの定期的な審査を受けることにより、職員の意識を継続的に維持し、改善に繋げていくことができる。

ISO9001の取り組みとして、業務見直しの過程で、図書室はこれまで医局図書のみ管理していたが、平成15年4月から図書室で院内の図書購入依頼、受付け、入力管理、貸出しを行うという形にした。そして平成15年度品質目標を「学会誌の把握管理」と決め、現在93タイトルの学会誌を管理している。

ISOの内部審査では、図書室の情報が顧客(患者様)とのコミュニケーションの一環として利用されていないという指摘を受け、昨年9月から入院患者様にも図書室を開放することになった。今年度の目標を、「患者様の利用者数を月5名まで増やす」ことに決め、現在努力しているところである。

---

NOGUCHI Michiyo

徳島赤十字病院 図書室

noguchi@tokushima-med.jrc.or.jp

● 研修会特集  
事例報告(2)

病院機能評価を受審して

黒石 正樹

医療の質を計る指標として第三者評価の必要性が高まっており、当院も受審をしたので報告する。1年余りの準備期間を経て平成16年1月に訪問審査、4月に日本医療機能評価機構認定病院(一般病院Ver.4.0)として認定された。図書室は「第4領域 診療の質の確保」の部門に属している。

I. 準備したこと

1. 図書室の理念・役割・年間目標を設定。2. 書籍情報をコンピュータに入力し、管理できるようにした。3. 図書分類について米国国立医学図書館分類法・日本看護協会看護学図書分類法に変更した。4. 文献相互貸借を開始した。その他、様々な業務整理をした。

II. 病院機能評価を受審して感じたこと

1. 図書室を医学・経営情報などあらゆる情報を職員に提供するための「要」の部署にしておくこと。2. 患者様に医学情報を提供して安心して治療を受けてもらえるよう、質の高い医療のための情報発信の「要」の部署にしておくこと。3. レファレンス業務を更に発展させ、病院のシンクタンクの役割を果たせるようにする。

図書室の理念は「常に利用者の立場にたち、利用者が必要とする情報を親切・迅速・確実に提供できる図書室を目指す」である。

更に充実した図書室を目指してがんばってきたい。

---

KUROISHI Masaki

広島赤十字・原爆病院 図書室

hi-tosyo@hiroshima-med.jrc.or.jp